

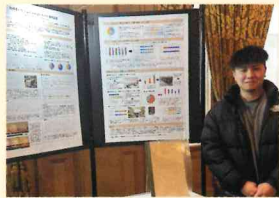
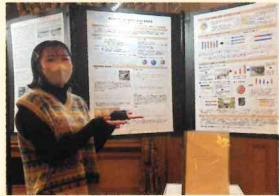
空間デザイン通信

2024
VOL.28
SPRING

職場のウェルネスも デザインする建築設計に 取り組んでいます

ウェルネスとは単なる健康という概念を超え、精神的な健康や環境の健康、社会的健康も含めた個人の生活全般にわたる最適な状態のことをいいます。

近年、健康経営の重要性が高まり、働く人がウェルネスであることが注目されています。働く人が高いパフォーマンスを継続的に発揮するためには、ただ物理的な環境の調整だけでなく、働く人の多様性を尊重し、ワークライフバランスやワークスタイルを選択できる環境を整え、適切な空調や照明、防音といったオフィスの環境作りが重要です。



大阪市中央公会堂で研究発表を行いました。



畿央大学東研究室による建物の調査。

そこで、畿央大学の東研究室にお願いし、職場環境が執務者の心身の状況や、会社に対する意識やモチベーションに与える影響についての調査を依頼しました。調査は、弊社が新社屋の建築設計を行なっている企業に協力してもらい、職場調査とアンケートを中心に実施しました。現在は既存建物の評価が終了し、来年春の竣工後、再度調査を実施して、最終的な調査結果をもとに、ウェルネスを考慮した建築設計に取り組んでいきます。



(阿部)

社長挨拶

働きやすい会社から生まれる
クリエイティブを目指して…

新年度の4月を迎えました。4月は様々な変化、新たな兆しがある季節です。当社でも新卒の社員が入社し、社内研修制度により勤務地を異動した社員もあり、新たなメンバーや体制となりました。東京オフィスは、事務所を移転し、ワークスペースを拡張するなど、働く職場の労働環境を改善しました。

これまでの様々な取り組みが評価され、豊島区よりワークライフバランス認定企業に認定されたことは、大変嬉しく思います。建築設計会社は様々な形はありますが、弊社は、社員を大切にし、働きやすい会社づくりを進めることにより、幸福度が高く、クリエイティブな発想や、新たな取り組みに積極的にチャレンジする人財が育つと考えています。会社が成長していく姿を描きながら、日々仕事に邁進いたします。



株式会社空間デザイン
代表取締役

阿部弘明

ベトナム ベトナムの子会社設立から1年！業務も拡大中です！

ベトナムでの子会社設立から一年が経過し、振り返るとこの一年はあっという間のように感じます。2名の社員からスタートし、今では6名の才能溢れるチームになり、一丸となって経営理念の実現に向けて努めてまいりました。この場を借りて、この一年間、日本の親会社の支えと、新しく加わったメンバー、そして関係者の皆さまの温かい支援に心から感謝申し上げます。

私たちは、グローバルレベルでの経営理念の追求と、日本の人口減少社会を背景に事業を開始しました。国際化の推進は私たちにとって避けて通れない課題であり、その中でも、ベトナムとの関係を深め、

そこでの活動拡大は私たちにとって非常に重要な一歩となりました。

設計業務は、日本親会社の設計や企画・プレゼンテーションを中心に、今後は、現在の業務品質の向上を図るとともに、設計検討にも積極的に関わりたいと考えています。業務の目的を正確に理解し、解決策を提案する設計検討の部分は難しいですが、デジタル技術も有効活用し、専門知識を蓄積することで次のステップにつなげていきたいと考えています。

設立から一年を迎え、私たちはこの一年間で築き上げた絆と成果を基に、更なる飛躍を目指して参ります。引き続きよろしくお願いたします。



市内の移動はもっぱらセオムと呼ばれるバイクタクシーを利用します。なかなかスリリングな移動です。

株式会社空間デザイン
取締役

谷口秀明



設計

池袋モンパルナスを原点に、豊島区の「千早地域文化創造館」の設計に着手！

豊島区の新築案件として「千早地域文化創造館」の基本設計を進めています。本施設が位置する地域は、かつてアトリエ村などに集まったアーティストが集い交流する「池袋モンパルナス」として知られ、今なおこの地域の文化的背景を構成してい



玄関ホールのパース図。壁の素材や色などシミュレーションを重ねます。

ます。本施設は、かつて池袋モンパルナスが有していたであろう、さまざまなアーティストが、自由にその創造性を発揮できる場、アーティストが相互に刺激しあえる交流の場を生み出すことを目標とし、現存する千早地域文化創造館の撤去・解体後の敷地に、現代に即した機能性と地域の学びや文化交流拠点として、新たに文化創造館を建設するという計画です。

周辺地域との調和を考え、隣地の公園や、図書館との繋がりを大切に、それぞれをつなぐ動線を設け、これらと連動して運用できるように諸スペースを配置しま



完成予想のパース図は、ベトナムの子会社で作成しています。

した。

今後も実施設計及び工事監理として業務は続いていくため、地域及び豊島区として感動空間を創造できるよう邁進していきます。



(檀山)

設計

豊島区南長崎の保育園の全面改修は、木材を多用した優しい空間創りを目指しました

2022年から2023年にかけて弊社が設計した「豊島区南長崎第一保育園」の全面改修がこの3月で無事竣工となりました。既存建物は竣工から50年以上が経過しており、実際に内外部の撤去工事が進むと既存図との相違や設計図通りには施工出来ない部分も多く、改めて全面改修の難しさを実感しました。

意匠面ではBIMを活用し園児たちが毎日安全に遊べる空間を創ります。

長先生や主管課担当者との打合せも行いながら、外壁はアイボリーとライトブラウンを基調に、内装はクロスを統一し白調、家具及び腰壁は木材を利用したことで優しいテイストの空間となっています。

設計事務所として課題の残る案件でもありましたが、1年という工事期間の中で学びも多く、実際の現場と設計での納まりの考え方などを学べたのは大きな経験となりました。

今後も弊社設計での工事監理案件が増えていく予定なので、この学びを活かしていきたいです。



(瀬戸)



木材を多用して、あたたかく、優しく、安全な保育園を目指しました。



保育士の方たちとも意見交換を重ね、内装は、白を基調とし、明るく開放的な空間に。

セミナー

毎日健康に働くためにメンタルヘルスセミナー受講

田中豪事務所の田中様をお迎えし、メンタルヘルス・健康管理セミナーをオンラインで開催していただきました。従業員の心の健康管理と企業の経営の関わりについての内容でした。ストレスが過少の場合でも体が鈍ってしまうため、適度なストレスが仕事への活力を与えていくとのこと。しかし、そのストレスが知らぬ間に大きくなり、最近では自分の健康状態に気づかず放置している人が多いのではないかと感じることもしばしばあります。このようなメンタルヘルスセミナーを通じて健康障害の症状を再確認し、自分自身の健康状態と向き合うことで、悪化する前に対処していく必要があると思いました。



(檀垣)

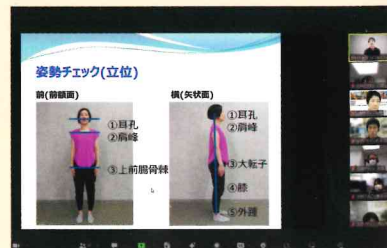
セミナー

正しい姿勢で働くことが良い仕事につながります

健康づくりオンライン講座「姿勢改善エクササイズ」を受講し、不良姿勢により体の不具合等弊害をもたらすことを学びました。また、正しい姿勢に必要な筋力と柔軟性を養うトレーニングやストレッチを、講師の方の動きを見ながら実際に気持ちよく体を動かすことができ、わかりやすくなりました。



(石橋)



エクササイズは、デスクでも行えるので、毎日行いたいです！

認定

豊島区長より認定証を授与されました！

設計という仕事は、アウトプット作業の連続です。アウトプットするにはインプットの時間が重要です。この考えから、好きな建築や美術館を訪れることが仕事に直結するためワークライフバランスの取組が必要です。その時間の確保をするには社員同士のコミュニケーションが重要だと考え職場環境の改善に取り組んできました。今回、豊島区ワークライフバランス認定を受け、このような取組が評価され認定されたことは非常にありがたく感じます。まだまだ、インプットの時間の確保は社員へ浸透していません。これからも少しずつにはなりますが、良い職場環境を築いていけるよう努力していきます！



(相原)



第15期豊島区ワークライフ・バランス推進企業として31社が認定がされ豊島区長より認定証を授与されました。

訓練

震災時に被災建築物を調査する防災ボランティアに登録



被災建築物を調査して、このようなステッカーを貼ります。

危険性を判定するものです。*

被災建築物応急危険度判定模擬訓練では実際の被災した建築物の写真をもとに、被災建築物応急危険度判定を行いました。ペアで意見交換をしながら、調査表に記入することで調査の要点などを再確認することができました。

また訓練の最後に地震保険の損害認定との違いについてのお話がありました。我々ボランティアが被災者の皆様を不安にさせることがないように、被災建築物応急危険度判定の意義をしっかりと理解した上でボランティアへの参加が必要だと感じました。

東日本大震災から13年が経った今年は、正月早々から能登半島地震が日本を襲いました。建築に携わる者として、被災地へ被災建築物応急危険度判定の要請があった際には積極的に参加したいと思えます。



(都澤)

※東京都都市整備局 HP より



出勤要請がないことが、一番ですが、地震大国に住む以上そうもいきません。もしもときのための準備も大切です。



建築探訪

島根県芸術文化センター「グラントワ」

建築家の内藤廣が設計した島根県芸術文化センター（愛称グラントワ）を訪れました。グラントワは、美術館と劇場からなり、伝統芸能である石見神楽の大会が開催されるなど、島根県西部の中心的な芸術文化複合施設です。



石州瓦は、屋根瓦12万枚、壁瓦16万枚！も使用されました。

建物の特徴は何といっても、石見地方の地場産材「石州瓦」が屋根のみならず、壁にも使用されているところ。瓦の基本色が赤茶色でありながら、つるりとした表面が光の角度によって様々な色に表情を変えるため、周辺環境に溶け込み、落ち着いた印象を受けました。

また、回廊型の建物の中心には大きな正方形の中庭があり、一年中水盤に水を湛えています。

私が訪れた際は晴天だったので、中庭でくつろぐ利用者の姿が見られました。夏季には子供



たちが水に足をつける姿があったりするのだとか。地域丸ごと包み込むような建物とおおらかな県民性に心穏やかに過ごせたひとときでした。

見られました。夏季には子供たちが水に足をつける姿があったりするのだとか。地域丸ごと包み込むような建物とおおらかな県民性に心穏やかに過ごせたひとときでした。



(八田)

島根県芸術文化センター「グラントワ」

島根県益田市有明町 5-15

Tel:0856-31-1860 HP:https://www.grandtoit.jp/

法律

法律相談セミナーで、「下請法」について学びました

社内研修で、定期的に顧問弁護士の柴田先生の法律相談セミナーを受講しています。今回は「下請法」について学びました。法律の原文はわかりづらく、読み慣れた人にしかなりませんが、柴田先生がポイントを要約し、わかりやすく説明して下さいます。「下請いじめ」や「買いたたき」など言葉は知っていても、内容はよくわかっていませんでしたが、こまかい規定に基づいて判断されるものだと知りました。

同じ建築業界でも、設計業務は下請法適用対象、建設業務は下請法ではなく建設業法が適用され、建設業法は責任範囲が下請の方に多く負わせる内容多く、個人的には厳しいな…という印象を受けました。判例を聞くと、法の立て付けがあっても、実際の裁判では様々な観点で審判されるようなので、何をしておも事実関係のエビデンスを残すことが重要で、それを持って法律の専門家に相談することがリスクを避けるポイントだと学びました。



(中尾)

ご近所

ご存知ですか？ 懐かしいオレンジのガム！

先日、大阪事務所のビルの EV の中で一緒になった方と雑談しました。3階に事務所を構える皆さんご存じの会社。誰もが通った道ではないかと思えます。『丸川製菓』さん。そう、オレンジフーズセンガムですよ。懐かしい。駄菓子屋に入り浸った世代です。



懐かしいパッケージ

大阪から西側のエリアを全て担当しているらしく、大変お忙しそうにされていました。かわいい紙袋に入ったガムたちを頂きました。ガムも嬉しいですが、個人的にはこの紙袋が嬉しいです！



(笹田)

研修

同友会で理念経営における リーダーシップを学びました

東京中小企業家同友会共育委員会主催の3日間の研修「社員教育塾リーダーコース」に参加しました。このコースは、個人からチームを意識し、主体的な行動を身につけることを目的としています。

最初の講座では、経営理念と自分の仕事を結びつけ、リーダーとしての役割を理解することの重要性について学びました。リーダーになることに、不安を抱いていましたが、先輩社員からの事例紹介により心が軽くなりました。

2日目の講座では、チームワークの重要性に焦点を当てました。部下や上司の視点を理解するためのグループワークを通じて、相手の立場になることの大切さを実感しました。

最終日の講座では、将来のビジョンを明確にすることの重要性について学びました。会社の方針である経営理念を理解することで、自分の目標を見直し、具体的な行動計画を考える良い機会となりました。

この研修での学びを活かして日々の業務に取り組んでいきたいと思えます。



(鈴木)



良いリーダーになるための行動計画を立てることができました。

ベトナム通信 vol.04



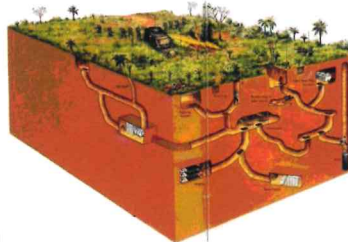
クチ地下トンネルに行ってきました！

クチ地下トンネルは、ベトナムのホーチミン市にある広大なトンネルシステムです。1940年代から1960年代にインドシナ戦争（フランスに対する戦争）、アメリカ軍および南ベトナム軍の戦争の期間に建設され、南部解放軍（ベトコン）の保護および補給基地の一部として重要な役割を果たしました。住民や軍隊の安全な避難場所としても使用されていました。クチトンネルシステムには地下のトンネル、地下通路、隠れ場所、および武器の生産・保管エリアが含まれます。これらのトンネルは通常、小さな高さで、爆弾や爆薬からの影響を受けにくいように設計されています。トンネル全体の全長は250km、トンネルは3つの異なる深さに分かれています。



トンネルの入り口。トンネルはかなり狭く中腰でないと進めません。

最上階は地上3メートル、中層階は6メートル、最深階は12メートル。現在は、当時の生活の様子や戦争中に使われた罫の数々が、戦争史跡公園として残されています。



トンネルシステムの断面図。アリの巣のようですね。



(Tuan)

編集後記

東京事務所は、巣鴨から南大塚へ移転しました。年度末の慌ただしい時期でしたが、所員の協力と努力に支えられ、スムーズに進行し翌々日には元の生活に戻ることができました。この経験により、結束力と柔軟性の重要性を改めて感じました。今後も、チーム一丸となって共に成長していきたいと改めて感じました



(渡邊)

空間デザイン通信 28号 2024年4月発行

大阪本社

〒564-0062
大阪府吹田市垂水町3-24-1
シンプルス江坂402
TEL.06-6192-8751
FAX.06-6192-8752
地下鉄御堂筋線「江坂駅」北口下車。東に徒歩5分。大同生命ビルと江坂公園を通り抜けたらすぐです。



東京事務所

(移転しました)
〒170-0005
東京都豊島区南大塚3-12-9
喜多ビル5階
TEL.03-5980-8535
FAX.03-5980-8536
(TEL・FAXは変更ありません)

